

学び合い、高め合い、励まし合い、認め合う教育の追求

全国協同学習研究会会報 2009年度 1号

発行日：2009年5月10日

事務局

新年度に向けて

2009年度が始まりました。新しい学習指導要領に反映される学力と1989年の学習指導要領にある「新しい学力」との整合性はどうなっているのか。ことばの上では格好をつけていても、実質的には詰め込みを要求しかねない、何か根のない教育文化状況が生まれようとしていないでしょうか。教育の素人が持論を振りかざして、目先の成績ばかりを追求する姿がとても気になります。全国学力調査も、現場の対応と、素人（政治家、マスコミを含む）たちの受け止めとはずいぶん乖離があり、現場の力や意欲を削ぐ方向づけがさまざまになされているように思います。

また、「学びの意義」についての議論をあまり聞いたことがありません。公教育の目的は個人の完成と社会を担う力量の育成です。とりわけこの後者の役割について、十分自覚的な議論がなされているとは感じられません。立身出世ということばはあまり好ましくは感じないのですが、明治の時代には、「立身」の中身に、同時に日本を担うという意味合いが強く含まれていたように思います。今の「立身」は自分の欲得を満たすためだけ、「出世」は虚名を上げることだけを意味してはいないでしょうか。

協同による学びは、社会に対して責任を持つ子どもの育ちの道筋です。新しい年度の教育の基本は、やはり不易の協同原理が何よりも重要だと思えます。

昨年度の会報は3号にとどまりました。本号で昨年度の会務報告をいたします。

第39回全国協同学習研究大会のお知らせ

2009年度、全国大会を次の要領で開催します

日程：2009年10月31日（土）

会場：東京都東村山市立萩山小学校

詳しくは次号で。ご予約をこれに合わせてご調整いただければと思います。

2008 年度会務報告

1 2008 年度事業報告

- 会報の発行（1号：7月30日、2号：9月30日、3号：1月10日）
- 国際協同教育学会30年記念大会・日本協同教育学会第5回大会への開催協力。
- 全国協同学習研究会年次大会は会場校の都合により開催できませんでした。
- 2008年度役員会は開催できませんでした。

2 2008 年度会計（中間）報告（2009年3月末現在）

＜収入の部＞		＜支出の部＞	
前年度繰り越し （2008年1月末時点）	376020	事務局消耗品	1794
会費収入	36000	郵送料	26880
利子	128	IASCE 開催援助費	50000
収入合計	412148	支出合計	78674

現在残高 333474

3 会員異動

○長らく本会の活動にご尽力いただきました明石の前田義夫先生、広島の新田正彦先生がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表します。

4 2009 年度事業計画

- 会報の発行（年間3回）：会員の交流と協同学習情報の提供を図る
- 第39回全国大会の開催
- 2009年度役員会の開催

5 2009 年度予算編成方針

- 会報の発行とそれに関わる郵送料。なお、e-mailが可能な会員にはメールによる配信をもって経費節減を図る
- 大会開催校への10万円の補助金支出
- 年度会費徴収への努力

新 刊 案 内

単行本

柔道と協同学習—自他共栄の原理を踏まえた強い個の育成

教育新聞社刊 2,000 円

伊藤三洋・杉江修治 著

・・・・柔道と協同学習。一見ミスマッチに見えるテーマではあるが、柔道の創始者嘉納治五郎の提唱した柔道のねらい、「精力善用」「自他共栄」ということばを見れば、柔道の本質は協同学習であることが理解されよう。嘉納は大正デモクラシーの時代を生き、新しい時代の教育を柔道にも求めた。互いに力を尽くして戦うことで、互いの成長を最大に支援するのが柔道である。勝ち負けは二の次となる。本書では、戦いというプロセスをとりながら、互いの成長を支援する柔道の協同的なねらいを解説し、さらには柔道授業で自他共栄をそのまま実現し、より効果的にする実践の提案を、実証研究もつけて示している。

武道の必修化の流れの背景に垣間見られる復古のセンスではなく、嘉納が目指した民主主義実現の手立てとしての柔道という解釈の意義と学校における実践の十分な可能性を示した興味深い本になっている。

*本書の購入希望者は教育新聞社に問い合わせるか、直接著者にご請求ください。

発行部数が少ないため、本屋への注文では時日がずいぶん必要になります。

伊藤三洋

杉江修治

協同教育実践資料

自らの食を考え、主体的に学び、実践する子—「食育カリキュラム」の開発を通して(協同教育実践資料 8)

日本協同教育学会刊 2,500 円

相澤陽一・倉橋伸子・杉江修治 監 犬山市立東小学校 著

・・・・犬山の教育は全国学力調査問題だけで特徴づけられるものではない。そこでは実に多様な協同学習の実践が試みられている。東小学校は、市内の全小・中学校が自校給食という環境にある市を挙げての食育の中心校であり、学校におけるすべての指導の中に食育を有機的に結び付ける豊かな実践を研究してきた。犬山の食育は文科省も強い関心を寄せるなど、特筆すべき食育文化を作っている。

本書は、食育の統合的カリキュラムと、協同を前提として進められる授業案を中心とした実践資料で構成されており、実践の役に立つ情報源となるものである。

仲間と学び合う中で、ともに高まる子をめざして―「話す」「読む」「聞く」「書く」活動を通して（協同教育実践資料9）

日本協同教育学会刊 2,500円

山本美一・杉江修治 監 名張市立つつじが丘小学校著

……学級の荒れで悩んでいた小学校が、教師集団の協同を通して一気に立ち直り、落ち着いたある、そして学力の明確な向上も見せた学校の4年間の実践の成果である。本書は、昨年度の研究大会の報告が軸となっている。国語をテーマに置いた実践は、教科書にとどまらず、教師たちの狙う学力にまっすぐねらいを定めた創造的な構成を持つものが多い。

*協同教育実践資料2冊の購入希望者は杉江 [REDACTED] にご請求ください。

◎日本協同教育学会（JASCE）大会の二次案内が送られてきました

日本協同教育学会第6回大会（こうべ大会）のご案内 第2号通信

会員の皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

2009年度は、本学会全国大会を下記のように神戸大学発達科学部で開催することとなりました。大会は2日間にわたりますが、その前日には「プレ大会」として神戸大学附属住吉中学校における教育研究協議会を位置づけております。

会員の皆さまの積極的なご参加・ご発表等を心よりお待ちしております。

記

●プレ大会

テーマ：協同学習で創る新しい学び―持続可能な社会に生きる資質・能力の育成―

日時：2009年10月16日（金）8：30～16：00

場所：神戸大学附属住吉中学校 [REDACTED]

内容：受付開始 8：30～

協同学習による9教科の公開授業 9：00から11：00

全体会 12：20～13：00

分科会 13：10～14：10

講演会 14：20～16：00 基調講師：京都大学大学院教授 田中耕治先生

●本大会

日時：2009年10月17日（土）9：30～16：30

2009年10月18日（日）9：30～11：30

場所：神戸大学発達科学部（ ）

内容：研究発表・実践報告・学会企画・会員自主企画

○本大会の概要（スケジュール）

10月17日（土）第1日目

9：00～ 受付開始

9：30～9：50 開会式

10：00～11：30 研究発表・実践報告（申込制）

13：00～15：00 学会企画「シンポジウム」

15：20～16：50 会員自主企画（申込制）／研究発表・実践報告（申込制）

17：30～20：00 懇親会 神戸大学経済学部アカデミア館「さくら」

10月18日（日）第2日目

8：30～ 受付開始

9：00～10：30 学会企画／実践報告（申込制）

10：50～12：20 学会企画／実践報告（申込制）

12：30～12：40 閉会式

◆大会の申込と参加費の納入

プレ大会のみの参加（*）一律2,500円

本大会のみの参加（**）正会員2,000円 学生会員2,000円

非会員 一般4,000円 院生3,000円 学部生1,000円

両大会ともに参加（**）正会員4,000円 学生会員4,000円

非会員 一般6,000円 院生5,000円 学部生3,000円

*プレ大会のみに参加される方は、【別紙1】に必要事項をご記入いただき、附属住吉中学校に9月30日までにファックスでお申し込みください。参加費は当日中学校の受付で徴収させていただきます。

**本大会のみに参加される方、あるいは両大会に参加される方は、【別紙2】に必要事項をご記入いただき神戸大学発達科学部に6月30日までにファックスでお申し込みください。事前の参加費納入は9月30日までに以下の口座に振込をお願いいたします。それ以降は当日受付でお支払いください。

振込口座：ゆうちょ銀行 口座番号：00100-8-315442

名義：日本協同教育学会

◆研究発表・実践報告・会員自主企画の申込

会員の皆さまの積極的な申し込みをお待ちしています。

① 研究発表について

発表 15 分と質疑応答 10 分の計 25 分を 1 発表とします。

発表を希望される方は【別紙①】に必要事項をご記入いただき神戸大学発達科学部に 6 月 30 日までにファックスでお申し込みください。また、大会論文集に掲載する原稿を【別紙 A】に示す書式に沿って作成（極力ワード形式）していただき、7 月 31 日までに電子メールに添付して提出してください。

② 実践報告について

報告 25 分と質疑応答 15 分の計 40 分を 1 報告とします。

報告を希望される方は【別紙①】に必要事項をご記入いただき神戸大学発達科学部に 6 月 30 日までにファックスでお申し込みください。また、大会論文集に掲載する原稿を【別紙 A】に示す書式に沿って作成（極力ワード形式）していただき、7 月 31 日までに電子メールに添付して提出してください。

③ 会員自主企画について

ワークショップあるいはラウンドテーブルの企画を募集します。ワークショップとは、協同学習にかかわる特定のテーマに関して、企画者である講師（ファシリテーター）のリードのもとに参加者がロールプレイや話し合いといった体験を通して深く理解できるようなセッションを指します。ラウンドテーブルとは、協同学習にかかわる特定のテーマに関して、一人または複数の話題提供者の研究や実践の報告等を糸口にし、企画者のリードのもとに参加者どうしが討論することを通して理解を深めるようなセッションを指します。いずれも 1 企画 90 分です。ワークショップを希望される方は【別紙②】、ラウンドテーブルを希望される方は【別紙③】に必要事項をご記入いただき神戸大学発達科学部に 6 月 30 日までにファックスでお申し込みください。また、大会論文集に掲載する原稿を【別紙 B】に示す書式に沿って作成（極力ワード形式）していただき、7 月 31 日までに電子メールに添付して提出してください。

*上記①～③の内容につきましては、後日当学会の機関誌「協同と教育」に掲載させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

案内の中に書かれている申込用紙が必要な方は杉江（sugie-sh@cac-net.ne.jp）までご請求ください。

また、しばらくすると日本協同教育学会の HP（<http://jasce.jp/>）にアップされます。

事務局からお願い：e-mail アドレスをお持ちの方へ

この会報並びに様々なご案内を e-mail で送ってもかまわないという会員の方々は、空メールで結構ですので事務局宛 XXXXXXXXXX、アドレスをお教えてください。経費節減という事務局の勝手なお願いですが、ご協力いただければありがたく存じます。